

ROBA NEWS



のりのりミニマップ 4,400部を贈呈！

詳細は8月7日(火) 福井新聞に掲載

平成30年8月3日内田と林博理事(マップ担当)が福井市地域交通課を訪問。のりのりミニマップ4,400部を贈呈いたしました。この取り組みはこれまで10年相当に亘り継続して行っていることなのですが、きちんと贈呈式(本年度で3回目)を行いマスコミの報道にも対処できるようしたほうが良い、という会員からの声を反映し贈呈式なるものを行ったものです。

具体的には、地域交通課担当者立会いの下都市戦略部國枝部長に部長室にて手渡しで行い、小中学校での社会教育や卒業する中学3年生に有効に使用してもらえるよう依頼しました。併せて、書店で販売する正規版ののりのりマップの購入をお願いするとともに、これからも改訂を重ね発刊を継続する方針を伝え終了いたしました。(記 内田)

☆☆活動報告☆☆

7月12日 ROBA7月例会
第2回CFDふくい実行委員会
8月3日 のりのりミニマップ贈呈式
9日 ROBA8月例会
第3回CFDふくい実行委員会

☆☆今後の予定☆☆

9月13日(木) ROBA9月例会
第4回CFDふくい実行委員会
22日(土) カーフリーデーふくい
29日(土)
第17回中部地区路面電車サミット金沢大会

Wacky's 一押しCD その20

ジョン・コルトレーン 「バラード」

これまで、ご紹介してきたのは、ジャズのエッセンスを取り入れたいわゆる、フュージョン(またはクロスオーバー)のアルバムがほとんどでした。今回は、モダンジャズの極み、権化ともいえる、ジャズの巨人「ジョン・コルトレーン」をご紹介します。ジョンの吹くサクソフーンは、その音数の多さと複雑さで、一世を風靡しました。モダンジャズの開祖と呼ばれる「チャーリー・パーカー」が開拓した、スリリングなサウンドを極めたとも言えます。

しかし、そのジョンにも、やり過ぎ感があったのか、はたまた、傍から「もっと優しい音作りをして。」と言われたのか…。ゆったり聞かせるバラードばかりを録音したのが、このアルバムです。超テクニシャンが、細心の注意を払って厳選した、少ない音の微妙な構成。聞けば聞くほど、奥深さが味わえます。お薦めの曲は、トップの「セイ・イット」です。寝る前に聞くと、いい夢が見られるかも…。

さようなら三江線

今年の3月末で、JR三江線が廃線になりました。線名が示すように、広島県の三次と島根県の江津を結ぶ108kmの長大路線です。昨年(2017年)の11月に用事ついでに乗って来ましたので旅行記風に報告したいと思います。

乗車日の朝は、広島県府中市から出発です。旧街道の街並みが残り、広島風のお好み焼き“府中焼き”が名物の街です。そんな街を6時46分の列車で発ち、北上します。今日はこのまま中国山地を横断し、日本海側に抜けます。府中から先の福塩線は、超閑散区間で列車は1日6本。沿線に高校がある事もあり、ある意味JRの厚意で運行されている感じもします。駅を出てすぐ、上に張られていた架線が無くなり、いなかの路線に入った感が増します。途中、駅舎が“おそば屋さん”になっている備後矢野駅に着きます。反対列車の待ち合わせの時間に、おっちゃんがコーヒーをごちそうしてくれました。あったかい地域です。民家もまばらな中山間地を各駅で高校生を拾いながら進みます。それなりの乗車率。すれ違った列車も混んでいます。6本の列車も彼らの大事な足ですね。試験などで午前中で終業の時は、何と臨時の列車が走ると言う。お堅いイメージのJRですが、粋な計らいもするんですね。・・・そして、のんびり2時間で三次駅に着きました。

ここからは本年3月末で廃線になった“三江線”に乗ります。ほとんど利用が無く、設備の老朽化も進んだため廃止になります。元々、日常的に通勤通学などに使えるようなダイヤにはなっておらず、どちらが悪いのか、と言う感じはしますが、苦勞して開通させた路線。もったいない話ではありません。10時02分の石見川本行きが発車までは1時間半ほどありますが、お名残乗車の人がどんどん増えていきます。なぜか団体さんも。風景の良い三江線を旅行会社が、お名残ツアーとして組み込んでいるらしい。2両に増結された列車は満員で三次駅を発車します。こちらは福塩線よりはるかに山奥って感じで、ずっと江の川沿いに走るため景色は最高。途中でさらに団体さんが増え、田舎の列車は超満員！ ちょっと利用価値を見出すのが遅かったですね。この線、川沿いの斜面をちょっとだけ削って造った“きわどい”場所も多くあり、スリルもあります。維持管理に金を使いたくない様で、危険区間は最徐行で進みます。そんな区間が実に多い。所要時間が長い理由です。途中、最後に開通した比較的新しい区間があり、一気にスピードが上がります。“天空の駅”として有名な宇都井駅に到着。停車時間が短く、ホームにも降りられませんが、確かに地上はるかに高い高架橋の上に止まっています。延々と階段を登るしかないこの駅。地元民には嫌われておりましたが、最近では観光スポットとして訪れる人が増えているとの事。さらに先、途中、山林の中の上り坂で、レール上に乗った落ち葉のため列車が空転。一時止まりかけましたが、運転手さんの必死の砂撒きとアクセル操作で何とか脱出しました。もう冷や汗もんです！ そして2時間ちょっとの乗車で終点、石見川本駅に着きます。大勢の客が駅前にあふれ、大いに賑わいます。この列車は、1時間半後、江津行きになります。意図的に地元で食事をさせるために作ったかのようなダイヤですねえ。

さて、街の案内書を片手に駅前を食堂を求めて散策します。150名ほどのお客さんが一斉に街に繰り出す訳ですから、一気に街なかが賑わいます。私の入った店は“川本食堂”。石見和牛と塩えごまたれを使った“エゴマ塩だれ丼”をビールと共にいただきました。う〜ん最高！店を出る直前、たどり着いた多くのお客さんで満員になりました。三江線の経済効果ですね。

駅に戻り、ホームにいる鉄道娘“石見みえ”ちゃんと記念写真を撮り、13時45分の列車で江津駅に向かいます。この辺りも川幅が広がった江の川沿いを走り、見晴らしはいいです。1時間ほどで終点の江津駅に着きました。この三江線、もっと観光に活かせば、大きな目で見てJRの収益源にもなり、存続の道筋も見えたとも思うのですが、残念な事です。地元の方も、我々の対応も遅かったと悔やんでおられ、今後は廃線敷を活用した街おこし、地域おこしを考えていくとの事でした。三江線、お疲れ様でした。

写真・文／善光 孝



三次駅ホームにて



スリル満点の路線



大混雑の三江線車内



新線区間にある天空の宇都井駅



25 や 30 の速度制限区間が多い



石見川本駅にて



エゴマ塩だれ丼、まいう～



鉄道むすめ、石見みえちゃんと



三江線、乗車記念切符



珍しい洪水時に締め切る門

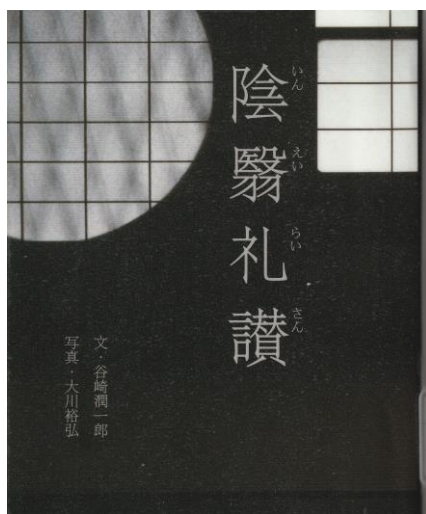
怪速! by.うろた哲
路面ライダー



作/漆崎 耕次

照ちゃんの気になる風景 Part 51

谷崎潤一郎著「陰翳 (いんえい) 礼賛 (らいさん)」を読む



文：谷崎潤一郎

写真：大川祐弘

発行：パイ インターナショナル

定価：1900円+税

現在、東京国立博物館では特別展「縄文—1万年の美の鼓動」が開催中です。(7月3日～9月2日) その縄文人が住んでいた竪穴住居の屋根は土でできたものがあり屋根にはいろいろな植物がはえていたらしい。

「美と云うものは常に生活の実際から発達するもので、暗い部屋に住むことを余儀なくされたわれわれの祖先はいつしか陰翳のうちに美を発見し、やがて美の目的に添うように陰翳を利用するに至った。」

「竪穴住居」は土屋根が熱を吸収するため夏は涼しく、冬は暖かい。しかし昼でも中は薄暗い。

「日本人はなぜ薄暗い影が好きなのか」まさに竪穴住居が続いた1万年以上の間に「陰翳を好むDNA」が刷り込まれていったのではと私は考えます。

編集後記・・・編集委員より一言

内田 (発行責任者)

「降雨がないので猫の額ほどの土地にある草木が枯れてしょうがないです。8月8日台風のおかげ?でようやく雨が降りました。台風もそれなりに大切です。」

林 (変集長)

「いよいよ10月1日(月)に森田コミバスの試験走行が開始されます。」(申請中)。構想10年。鳥居さんといっしょにNPOとしてかかわって2年。皆さん、是非乗りに来て下さい。詳細は次回200号で紹介しします。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>